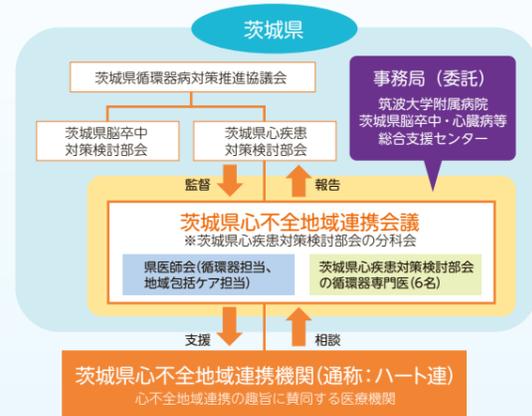


地域でつなぐ茨城県心不全地域連携

令和5年10月 茨城県心不全地域連携会議が、茨城県心疾患対策検討部会の分科会として設立されました。

心不全患者が、住み慣れた地域でその人らしい暮らしを送るために、県内の各地域に心不全診療のネットワークを作ることを目的としています。



医療連携の輪を広めよう「茨城県心不全地域連携研修会」

年に3回、連携施設で集まり、医療者向け研修会を行います。

各医療機関からの症例報告など、相互情報交換や情報共有、心不全に関する最新のトピックスを話題に研修会を行いますので、是非、関係医療者の皆様もこの研修会にご参加ください。



心不全地域連携パス3つの資料

医療機関同士が連携して心不全の治療を継続できるように、個々の患者さんにあった心不全地域連携診療計画書を作成しました。

急性期医療機関			回復期・療養期医療機関			生活期医療機関		
入院日 年月日	地域連携計画説明日 年月日	説明者サイン ()	転院日 年月日	地域連携計画説明日 年月日	説明者サイン ()	転院日 年月日	地域連携計画説明日 年月日	説明者サイン ()
経過 急性期 入院～退院 退院日(/)			経過 回復期・療養期 入院期間 およそ1～3か月程度 退院日(/)			経過 生活期		
達成目標 □安静を守ることが出来る。 □酸素投与が不要になる。 □生活習慣の問題点が理解できる。 □退院に向けて多職種で話し合いを行う。			達成目標 □呼吸状態が悪化しない。 □リハビリテーションが目標に達している。 □栄養管理が出来る。 □体重と水分の管理が出来る。 □心不全手帳を記載できる。 □退院に向けて多職種で話し合いを行う。			達成目標 □内服治療を継続し、食事・活動などの生活習慣に気を付けて、再発予防が出来る。 □心不全手帳を毎日記載する。		
治療 安静、酸素投与、薬物治療(点滴、内服)を行います。 病状に応じて経血、レントゲン、心電図などを行います。 必要に応じてカテーテル検査や治療、ペースメーカー治療、重症呼吸による治療等を行います。			治療 病状に応じて経血、レントゲン、心電図などを行います。 内服薬や点滴を継続しながら治療を継続します。			治療 内服治療を継続します。 体重・血圧管理を行います。 病状に応じて経血、レントゲン、心電図などを行います。 再発予防に努めます。		
食事 原則、病院食以外では食べられません。 医師の指示の下、食事内容を変更します。 心不全治療のための栄養指導を行います。			食事 原則、病院食以外では食べられません。 医師の指示の下、食事内容を変更します。 医師の指示の下、適切な水分量の指導を行います。 必要時、栄養指導を行います。			食事 水分摂取量、水分摂取量について適切な指導を行います。		
リハビリ 筋力低下を予防し、日常生活動作を改善するため、医師の指示の下、早期からの心臓リハビリテーションを行います。 状態に応じて医師の指示の下、安楽度が変更されます。			リハビリ 筋力低下を予防し、日常生活動作を改善するため、医師の指示の下、リハビリテーションを行います。 状態に応じて医師の指示の下、安楽度が変更されます。			リハビリ 日常生活の維持に向けて、筋力低下予防の運動指導を行います。		
説明 □医師・病状説明 □看護師・生活指導 □理学療法士・運動指導 □薬剤師・薬師指導 □栄養士・栄養指導			説明 □医師・病状説明 □看護師・生活指導 □理学療法士・運動指導 □薬剤師・薬師指導 □栄養士・栄養指導			説明 □医師・病状説明 □看護師・生活指導		
医療相談 今後のことについて相談します。 □ 通院支援 □ 介護サービス等の利用 □ 医療費について □ 社会復帰について(就労・就学)			医療相談 今後のことについて相談します。 □ 通院支援 □ 介護サービス等の利用 □ 医療費について □ 社会復帰について(就労・就学)			医療相談 必要に応じて療養支援について相談を受けます。		

※ 2023年12月版です。最新版は当センターHPよりダウンロードしてください。

心不全セルフチェックシート

週1回をめやすにチェック 理想体重 _____kg

こんな症状はありませんか？

- 疲れやすさ・だるさ
- 食欲低下
- 眠れない
- 理想体重から3kgの増加・減少
- 動いた時に息切れがする
- 足のむくみの悪化
- じっとしていても息苦しい
- 夜間の強い咳
- 横になると苦しくなり、座ると楽になる
- 血圧が低くフラフラする

赤があったら、すぐに受診
黄があったら、早めにかかりつけ医受診
緑があったら、通常の診察で相談

茨城県 心不全ネットワーク

心不全手帳

第3版

受診時にお持ちください

日本心不全学会

あなたの情報

あなたの心不全の状況

心不全のサインの観察

心不全のサインの観察

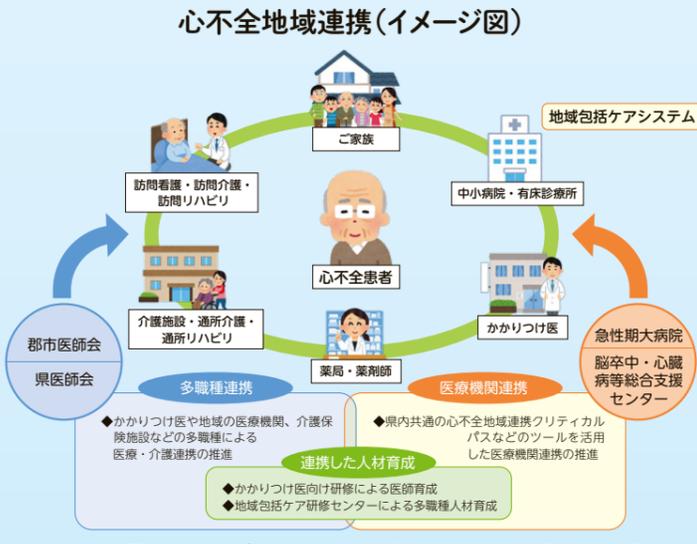
心不全のサインの観察

茨城県心不全地域連携機関(通称:ハート連)でつながろう

心不全地域連携パスを運用するにあたり、茨城県心不全地域連携機関(通称:ハート連)を募っています。ハート連にご加入いただいた施設は、研修会への参加を通じて、地域における心不全診療の質を向上させるとともに、地域連携のネットワークを構築し、地域で顔の見える関係を築いていきます。参加協力意思のある施設は随時登録が可能です。

ALL 茨城県で取り組みを始めました

心臓病の原因疾患への治療を行っても、その後の生活習慣や様々な要因により、心不全の再増悪をきたし、再入院になることがあります。これらを未然に防ぐためには、上手に病気と付き合いながら生活する必要があり、患者さんのみならず、その支えとなるご家族のご理解が必要です。そして、かかりつけ医をはじめとする医療機関のサポートも重要です。



心不全による緊急入院0(ゼロ)を目指し、地域医療連携・多職種連携を推進します。

茨城県心不全地域連携機関(通称:ハート連)の参加方法

心不全連携の輪を広めるため、心不全診療を行う全ての医療機関・施設の皆様にハート連の加入をお願いいたします。年3回程度、心不全地域連携研修会を行います。

診療報酬算定の有無に関係なく、研修会等参加可能です。

1 参加方法

下記のハート連登録フォーム QR コードよりご入力いただくか、もしくは茨城県心不全地域連携会議事務局担当者にお問い合わせください。

【連絡先】 ☎029-853-3696 ✉noushin-c@un.tsukuba.ac.jp

2 連携イメージ

心不全連携は心不全を抱える患者さんを地域ぐるみで支える取り組みであるとともに、この取り組みは診療報酬上でも評価されています。



3 診療報酬算定

診療報酬の施設基準を届出することで、地域連携診療計画加算(診療情報提供料または入退院支援加算)が算定可能となります。詳細な手続き方法については、事務局担当者をご説明いたします。

筑波大学附属病院 茨城県
脳卒中・心臓病等総合支援センター
〒305-8576 つくば市天久保 2-1-1
<https://www.hosp.tsukuba.ac.jp/stroke-heart>

TEL 029-853-3696

平日 9時～17時(土日祝日を除く)

【ハート連登録フォーム】



【センターHP】



2024年2月初版

茨城県 医療者の皆様へ



健やかな日常を送っていただくために、
地域全体で心不全連携に取り組みます。

茨城県心不全地域連携会議

筑波大学附属病院 茨城県脳卒中・心臓病等総合支援センター

Ibaraki Total Support Center for Stroke and Heart Disease